

平成 26 年度始まる



はんの木だより

2014 年
第 54 号

社会福祉法人美土里会

青森県上北郡七戸町寒水 70-17

電話 0176 (62) 2761

四月一日、社会福祉法人美土里会の辞令交付式及び全体会議が行われました。高卒四名を含む新採用職員五名、厨房委託職員一名が新たな仲間となり、式の冒頭に盛田薫総合施設長より辞令が手渡されました。

続いての訓示では、今年度の事業として特養二〇床・ショートステイ一〇床の増床が決定したことが報告され、法人全体で協力し合い開設以来の一大事業を推進しようと誓いました。

その後、美土里会の理念についての解説がありました。

「世界三大聖人の一人でもある、古代中国の思想家・孔子の教えの『忠恕』とは、まごころ・本当の意味での思いやりのことです。私たち一人一人も、美土里会の理念である忠恕の心を持って仕事をしましょう」との話があり、職員全員が人間性を磨いて努力を重ね、まごころからの思いやりを持ったケア

新人職員による挨拶



サービスの提供しようとの想いを新たにしました。

引き続き行われた職員全体会議では、各事業所から事業計画の発表がありました。法人全体では、今年度も全国老人福祉施設協議会の提唱する科学的介護に取り組み、介護力向上講習に職員を参加させる事が報告されました。その他の事業所からも、今年度の計画と目標が力強く発表されました。

介護や医療を取り巻く制度は大きく変わろうとしています。そのような現状の中「美土里会の使命は何なのか」を常に考えながら、忠恕の心を胸に頑張りたいと思います。今年度も、宜しくお願いいたします。



いらっしやい!

新人紹介

今年度新採用の職員のうち、高校を卒業したばかりの新人四人にいろいろ聞いちゃいました!

★なぜ美土里荘に勤めようと思いましたか?

佐藤寛翔（以下、佐藤） 介護の仕事をしたかったからです。
酒田彩香（以下、酒田） 地域の方々とのふれ合いを大切にし、行事などもたくさんあり、楽しそうだったからです。
櫻田珠美（以下、櫻田） 実習で大変お世話になったからです。
岡田弥姫（以下、岡田） 実習でお世話になったことと、家が近かったからです。

★美土里荘の印象は?

佐藤 楽しそう!
酒田 とても明るい雰囲気だなと思いました。
櫻田 皆が明るいと思いました。
岡田 職員のみなさんが元気で明るいと思いました。

★趣味はなんですか?

佐藤 音楽関係やその他もろもろ...
酒田 バドミントンをすることです。
櫻田 お菓子作りで、主にケーキ系を作ります。
岡田 野球を見る事と、音楽を聞くことです。

★プライベートは何をして過ごしていますか?

佐藤 ドライブや買い物、寝て過ごしています。
酒田 友達と出かけたり、バドミントンをしています。
櫻田 出かけるか、家でゆっくりしています。
岡田 出かけるか、寝ています。

★今後の抱負やこれから頑張りたいことはなんですか?

佐藤 ナンバー1!
酒田 まずは早く仕事に慣れて、国家試験の勉強も頑張っていきたいです。
櫻田 確実に仕事を覚えたいです。
岡田 仕事の流れを早く覚えて、動けるようになりたいです。



酒田



櫻田



岡田



佐藤

事業所通信

デイサービスセンター様



五月一三日から一九日まで天王神社のつじ祭見学に出かけてきました。咲き誇るつつじをみては「ワアー」と歓声あがり皆さん喜ばれていました。外に出て写真を撮ったり、神社の階段を

上ってみたいとおっしゃる利用者の方もいて、きれいな花に触れ元気をもらうことができました。露店でそば餅や串こんにやく等も購入し「みそだれがおいしい、くし餅もおいしい味だ。」と目もお腹も満足、満足でした。

栄養士・厨房



美土里荘では、ご利用様にミズの皮むきや枝豆の枝取り、菊の花むしり、栗の皮むきなど手伝ってもらっています。今回は、ミズの皮むきをしながらどんな調理方法で食べたいか聞くと「やっぱり油炒めがいいな」と言う意見が多かったため、しょう油と油で

炒め、昼食時に提供しました。「美味しい」や「今度は和え物で食べたい」と言った声が聞かれたので、次回チャレンジしようと思います。

グループホーム様



● 普段なかなかお目にかかれなご家族とも笑顔で懇談できました



四月二八日、グループホーム様で家族交流会が行われました。家族交流会は、グループホーム職員とご利用者家族が普段の面会やお手紙等では伝えきれない事を伝え合ったり、お互いの関係をより身近なものとし、更なる介護サービスの向上につなげていこうと行っています。

最初は、皆さん緊張していたのか、静かでしたが、時間が進むにつれ、各テーブルからは笑い声なども聞かれ始め、あつという間に話が弾んでいきました。ご利用者の話、今まで知らなかった家族様のお話、普段の面会では話せなかった事等たくさんのお話が出来ました。二時間という短い時間はあつという間に過ぎ、ご家族からは「あら、もうこんなに時間が過ぎていたの？知らなかったわ」と話に夢中になり、時間を忘れるほど盛り上がりました。

今回の家族交流会での話を職員で共有し合い、今後の更なるケアの向上を目指していきたいと思っています。参加してくださったご家族様本当にありがとうございました。

周辺清掃活動

大量のゴミ・粗大ゴミに
悲しい気持ちに…



毎年、雪が解けた四月：美土里荘周辺の道路沿いに落ちているゴミ拾いを行います。今年は四月一六日（水）、職員一五人くらいで約一時間、強風の中ゴミ拾いを行いました。

空き缶やペットボトル、ビンやレジ袋など、車窓からポイ捨てされたようなゴミから、木製の棚や発泡スチロールに入った貝がら付きのホタテ貝（もちろん腐っていました）、ひどいものでは道路から少し奥に入ったところに洗濯機やテレビ等の家電製品までもが捨てられていました。家電リサイクル法の影響なのでしょう…：自分勝手な行動に怒りを通り越し、悲しい気持ちにさせられました。自分のゴミには責任を持ち、きちんと然るべき場所に捨てて欲しいと思います。

編集後記

今年度初めての『はんの木だより』、いかがでしたでしょうか？今年こそはたくさんある行事をいかにタイムリーにお伝えできるかを考え、皆様がより楽しんでいただける広報誌作りを目標にしていきたいと思っています。

これから暑い日がまだまだ続きますが、体調を崩さず、お過ごしください。では次回ははんの木だよりをお楽しみに〜！（青）

今回の『はんの木だより』は、初めて職員だけで記事作成・紙面データ作成・校正・印刷を行いました。おかげでスピーディに発行できましたがやっぱり大変でした！次回はどうしよう…。（一）